

フラッセル日本人学校補習校 学校だより No.13



ベゴニア

～「わかった」「できた」「来てよかった」
の笑顔あふれる補習校～



前期前半終了です

～価値ある3カ月にすることができましたか？～

2024（令和6）年7月6日

文責 校長 佐藤 博

歳を取るとだんだん月日が経つのが早く感じるもので、本年度もあっという間に前期前半の終了の日を迎えました。子どもたちにはいろいろな場で「何のために補習校に来ているの」「補習校に来て何ができるようにしたいの？」といったことを尋ねてきました。その成果もあったのか、最近の子どもたちを見ると、授業に一生懸命勉強に取り組む子が増えてきたなと感じます。補習校にくる目的や意味について、きっと各ご家庭でたくさん話をしてくださっているのだろうと思います。ありがとうございます。

さて、前期前半も今日で終了です。全校朝会では次の質問をして、自分の3カ月の様子を簡単に振り返らせてみました。

○補習校に来る目的をはっきりさせ、その目的に向かって頑張ることができましたか？

○宿題はきちんとしてきましたか？

○補習校のルール（特に日本語で話す）は守れましたか？

○授業中は一生懸命、勉強に取り組めましたか？

子どもたちは、この3カ月を振り返りながら熱心に考え、質問に答えてくれました。

その後、夏の過ごし方についての注意を行いました。休み中は旅行等に出かけ日本語から離れてしまうこともあるかもしれませんが、できるだけ家族と日本語で会話をするとともに、日本の本などにも親しみ、今の学力を落とすことがないようにとの話をしています。ぜひご家庭でもご協力をお願いします。

また、出掛け先にも様々な危険が潜んでいます。「自分の身は自分で守る」ことを忘れず、無理せず楽しい夏休みを過ごすように伝えています。どうぞ保護者の皆様も、楽しい夏休みをお過ごしください。

前期後半、8月24日(土)9時スタート！

夏休み明けの前期後半は8月24日スタートです。この日の朝は全校朝会を実施しますが、もしも天気が良かった場合は、周年記念行事用のパンフレットの全校写真を運動場で撮影したいと考えています。朝の9時に運動場で全校朝会を行い、そのままドローンでの写真撮影となりますので、時間に遅れないように登校させてください。雨天の場合は体育館で実施予定です。よろしくお願いします。

夏休み中の図書貸し出し8月3日(土) 9:00～12:00

本年度の夏休みの本の貸し出しは、8月3日(土)の9時～12時に実施します。長期休み中は、図書館の図書が5冊・コミック3冊・DVD2枚までとなっています。ただこの日は本来休日のため事務員が不在で学校の門の開け閉めができません。必ず保護者証を持参し、ご自身で学校の門を開けて校内に入らようご協力をお願いします。



七夕に込められた思いとは・・・

校内には各階に1本ずつ、補習校の七夕も飾っていたのですが保護者の皆さまはご覧になりましたか？先週からわずか2週間しか飾ることができなかったため、見られなかったという保護者の方もいらっしゃると思います。どのような願い事を書いたのか、ぜひお子さんに尋ねてみてください。私も見て回りましたが、中には「サッカーがうまくなりますように」「おじいちゃんやおばあちゃんと会えますように」「毎日夏休みになりますように」なんて子どもらしいものもあれば、「世界から戦争がなくなりますように」「戦争で誰も死にませんように」という世界平和を願うスケールの大きなものもありました。子どもたちなりに今の世界情勢を見て、いろいろと考えているんだなと感心しました。前期前半の授業はもう終わってしまったため、七夕飾りは右の写真でしかお見せすることはできませんが、ぜひおうちでも家族で願い事を書いてみてください。そしてその願い事、叶うといいですね。



「落語ワークショップ」で前期前半締めくくります

前期前半最後のイベントは、日本人会主催の「落語ワークショップ」です。6日の放課後、体育館を使って実施、補習校だけでなく全日からも参加された方がいて、総勢70名近い参加者がありました。この日は日本から春風亭昇羊さんという若手の落語家さんが来校され本物の落語を披露してくださいました。日本に住んでいても、本物の落語家さんの話を聞くことなどめったにないので、(特に長崎は)今回の体験は本当に貴重なものとなりました。日本から遠く離れたここベルギーで、このような素晴らしい日本の伝統文化を体験することができ、本当に嬉しく思います。春風亭昇羊さん、また企画してくださいました日本人会の皆様、本当にありがとうございます。

「笑い」には非常に高度な理解が必要です。特に落語などの笑いは言葉の意味だけでなく時代背景や人物の心情などまでしっかり理解できていないと、笑えないときがあります。どこがおもしろくてなぜ笑ったのかといった深い理解がないと「笑い」は成り立たないのです。その意味でも落語から学ぶことはたくさんあり、今回は非常に貴重な体験となりました。ありがとうございました。

また今回はワークショップという形式を用いて、落語でよく使われている様々な仕草なども学ぶことができました。テレビでしか見たことがないような、そばをすするシーンなども、子どもたちは上手に表現することができました。このような体験が子どもたちの表現力をのばす一つの方法になれば嬉しいです。

さて、この夏休みには日本に帰ったり他国を旅行したりと、様々な経験することだと思えます。それらの経験が子どもたちの力をさらに伸ばしてくれるといいですね。いい夏休みをお過ごしください。

